

研究情報公開

受付番号	23-15
研究課題名	回復期脆弱性骨盤輪骨折患者における四肢骨格筋量が運動 FIM 利得に及ぼす影響
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法部 理学療法士 中山樹里
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>回復期脆弱性骨盤輪骨折患者を対象とした、四肢骨格筋量が運動 FIM 利得に及ぼす影響を調査することを目的とする。</p> <p>[研究の方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる方 当院に入院した脆弱性骨盤輪骨折の患者様 ●利用するカルテ情報 年齢、性別、Body Mass Index (BMI)、簡易栄養状態評価指数 (MNA-SF)、四肢骨格筋量指数 (Skeletal Muscle mass Index ; SMI)、骨折数、骨折部位、当院入院時荷重制限の有無、Mini-Mental State Examination (MMSE)、急性期在院日数、受傷から当院入院までの日数、当院在院日数、リハビリテーション平均提供時間、入退院時 Function Independence Measure (FIM)、FIM 利得、運動 FIM 利得、認知 FIM 利得、その他研究を行うにあたり必要なデータの収集を行う。 ●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者様の SMI と運動 FIM 利得の関連を検証する材料とします。 <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2026年3月31日